比布町立比布中央学校
１０月号
令和８年１０月３０日
文責　小田島　充彦
吉野　法行



褒める or 叱る or 考えさせる?

校長　石　坂　　剛

１０月とは思えない小春日和に雪虫がたくさん飛んでいると思ったら、程なくして１２月上旬並みの寒気が流れ込み、一気に冬が到来しました。当初、１１月は平年より暖かいと予報されていましたから、生き物が季節を感じ取る能力の高さには改めて感嘆します。

ところで、皆さんは褒め上手ですか。子供も大人も褒められればうれしいし、やる気も出るのは分かっていますが、いざ褒めようとするとなかなか難しいものです。先日、ベネッセが公表した小学生の親子を対象にした調査結果によると、約７割の保護者が、「褒める前にできていない点が目に付いてしまう」「『頑張ったね』など褒め言葉が同じになってしまう」という悩みを持っているそうです。一方、褒められて「うれしい」と感じる子供が９割、「もう一度頑張ろうと思う」子供が８割だったそうです。

海外の心理学の研究でも、褒めることは成績を持続的に向上させるが、叱る効果は長続きしないという実験結果が報告されています。また、能力や結果より努力した過程を褒めた方が子供が意欲的になるという実験結果もあります。むやみに褒めるのではなく上手に褒めることが大切だと親も分かっているので、前述のような悩みを持っていると言えるでしょう。

一方、企業では、若者を叱ることができないという問題(!?)が時折話題になっています。失敗して叱られることが「不適切にもほどがある」世代では当たり前でしたが、褒めて育てられたＺ世代は叱ると人格が否定されたと受け止めるため、上司が遠慮して叱ることができないという話です。そのために叱られる経験が大事だという主張もありますが、それは少々短絡的かと思います。前述の心理学でも叱る効果は否定されていますし、そもそも多くの人は叱られて快く思わないでしょう。もちろん、悪いことをしたときはきちんと叱られることが大事ですが、失敗のたびに叱られていては萎縮してしまいます。

外資系企業と日本企業両方の経営経験を持つ外国人実業家の講演を聞いたことがありますが、その違いについて次のように語っていました。

「日本人社員は、真面目で責任感が強く、能力のばらつきがないが、リスクを避ける傾向が強く、起業家精神は世界でも最下位。失敗を恐れて成功はない。自分は失敗して上司に叱られたことがない。上司から問われたのは、失敗から何を学んだかとそれをどう共有するかだ。」

ビジネスと教育は同じではないですが、叱ることを増やすより失敗から学ぶ経験を積ませることが大事なのだと思います。日本では、子供が失敗しないよう声掛けしたり手を出したりすることが多いため、欧米と比較して子供の主体性が育ってこなかったという指摘もあります。予測困難な未来を生きる子供たちには、失敗を恐れず、失敗から学ぶことが大切です。失敗して落ち込む子供に何を学んだか整理させ、自分で回復できる力（レジリエンス）を身に付けさせたいものです。もちろん、学びのないまま同じ失敗を繰り返すのは単なる愚行ですが。

さて、かく言う私も褒め下手です。日々、精力的に子供たちの指導に当たっている教職員を褒めるか、叱るか、考えさせるか、どうしようかな。

収穫の秋

JA 青年部をはじめ、地域のボランティアの皆さんからご協力を頂き、那須さんの水田で収穫されたお米「いちごっ子米」160 kg。10 月の給食において８日間に分けて提供されました。甘みがあってとてもおいしいお米です。いつも以上に食が進んでいるように見受けられました。20 日には青年部の皆さんをお招きして給食を召し上がっていただきました。（北海道新聞も取材していきました。）



児童会本部が全校児童生徒を代表して９月に頂きました。

それぞれ力いっぱい表現しました！








17 日(土)に「心にひびけ！　最高の学芸会」のテーマの下で学芸会を行いました。それぞれ練習の時からより良いものにしようという気持ちがあふれていて、熱心に練習に取り組む姿が見られました。４年生と６年生においては、元富良野塾生の太田さんによる演劇ワークショップを経験し、表現の工夫について教えていただきました。また、５年生と６年生は声楽家の川島先生から合唱のワークショップを受け、伸びやかな発声について教えていただきました。

お帰りになる保護者の皆さんやご来賓の方々からは「よかったー」「感動した」というお声をたくさん伺うことができました。

子どもたちからも「とても楽しかった」「もう 1 回発表したい」という声も聞かれ、うれしい限りです。

貴重な体験でした

15 日（木）、16 日(金)の２日間。８年生が宿泊研修に札幌へ出かけました。「総合的な学習の時間」のキャリア教育（一人一人が将来社会で自立し、自分らしく生きるために必要な基礎的な能力や態度を育てる）の一環です。

初日は班ごとに分かれて様々な専門学校で体験を通した探究活動を行いました。２日目は北海道科学技術大学での聴講でした。

自分の町を出て学ぶことは子どもたちの視野を確実に広げます。今回の学びを９年間の集大成となる修学旅行での学びにつなげるため、今後まとめと報告会を実施します。







JA ぴっぷ町様より お米を頂戴しました

28 日(水)ランチルームで次年度給食用のお米の贈呈式を行いました。

JA ぴっぷ町の大西組合長様から村中町長、三浦教育長、　　生徒会長、　　児童会長に手渡されました。

比布産のななつぼし４t です。これまでもご寄贈いただいていましたが、本当にありがたいことで、比布の子どもたちは本当に恵まれていると感じました。

児童生徒を代表して　　生徒会長が「大切に食べます。ありがとうございました。」とお礼を述べました。前期児童玄関ロビーにしばらく飾らせていただきます。



11月の予定

	前期	後期
１１月　２日（月）	**職員会議**	
１１月　３日（火）	文化の日	
１１月　４日（水）	教育相談（～16 日）交通安全街頭指導 特別支援学級校外学習(1～3 年)	保護者進路説明会
１１月　５日（木）	読み聞かせ(1・2 年)	
	町教研公開授業(学校教育指導訪問)	
１１月　６日（金）		高等学校訪問(8 年)
１１月　９日（月）		旭川市立大学訪問(7 年)
１１月１０日（火）	**方面別下校訓練**	
１１月１１日（水）		学力テスト(7・8 年生) 学力テスト C(9 年生)
１１月１２日（水）	**合唱交流会**	
１１月１３日（金）	委員会⑨	9 年三者懇談① 7・8 年二者懇談①
１１月１６日（月）		9 年三者懇談② 7・8 年二者懇談②
１１月１７日（火）		9 年三者懇談③ 7・8 年二者懇談③
１１月１８日（水）		9 年三者懇談④ 7・8 年二者懇談④
１１月１９日（木）	チャレスペ②	9 年三者懇談⑤ 7・8 年二者懇談⑤
	スクールカウンセラー来校日	
１１月２０日（金）	クラブ⑤	9 年三者懇談⑥ 7・8 年二者懇談⑥
１１月２２日（日）	**開校記念日**	
１１月２３日（月）	**勤労感謝の日**	
１１月２４日（火）		テスト前学習会
１１月２５日（水）		テスト前学習会
１１月２６日（木）	貯金日	期末テスト 7・8 年①
１１月２７日（金）		期末テスト 7・8 年②　貯金日
	いじめ防止集会	
１１月３０日（月）		大学訪問報告会
	研修日⑧	